

学校運営協議会（第2回）議事録

校名	府立交野支援学校
校長名	西村 誠三

開催日時	令和3年12月7日（火） 10:00 ～ 11:00
開催場所	府立交野支援学校 校長室
出席者(委員)	藤田 寿夫(会長) 八尾 康典(委員) 木下 清一(委員) 山埜 朋一(委員) 三浦 明代(委員) 岩出 るり子(委員) [欠席]
出席者(学校)	西村 誠三(校長) 南 佐和則(教頭) 長田 登起夫(教頭) 清水 紀行(事務部長) 相馬 寿子(首席) 木下 達夫(首席) 西島 洋美(首席・高等部主事) 坂野 理恵(中学部主事) 上田 悠司(小学部主事)
傍聴者	なし
協議資料	目次 資料0：学校運営協議会 実施要項 資料1：学校経営計画及び学校評価、ダイジェスト版 資料2：学校教育自己診断アンケートの結果報告 資料3：意見書および給食資料（資料3-①、3-②、3-③） その他資料：Wish Board、専門性チェックリスト
備考	

議題等(次第順)
<p>(1) 校長挨拶</p> <p>(2) 「学校運営協議会委員」および「事務局」自己紹介</p> <p>(3) 議事 ①本校の「令和3年度学校経営計画及び学校評価」進捗状況について ②「学校教育自己診断アンケート」について ③その他 ・意見書より</p> <p>(4) 今後の予定</p>
協議内容・承認事項(説明・意見の概要)
<p>(1) 校長挨拶 (新型コロナウイルス感染症)大阪6名。このまま収まればと思っている。今日は第2回目ということで、学校の運営状況をできるだけわかりやすく短時間でご説明をさせていただく。</p> <p>(2) 「学校運営協議会委員」および「事務局」自己紹介 実施要項の名簿順に各委員および事務局より自己紹介。</p> <p>(3) 議事 ①本校の「令和3年度学校経営計画及び学校評価」進捗状況について 少しでもわかりやすいように、めざす学校像、中期的目標、本年度の重点の取り組みをダイジェスト版も作成。 〈めざす学校像〉 子どもたちと教員が学びあいながら笑顔でつながり、共生社会・多様性社会に向けて、学校が社会をつくっていく役割の一役を担いたい。</p>

<中期的目標>大きな柱4点、4つの力の向上を図る。

<本年度の取り組み内容>の進捗状況を説明。

1 安全安心を守る力の向上

(1) 人権尊重の教育推進

- ・毎月の職員会議にてそれぞれの教員が自己的人権意識をチェック。令和2年度の不祥事防止研修で作った標語を職員室内に掲示。
- ・勤務時間と休憩時間の意識の値が低いことが課題である。
- ・児童生徒の呼び方。愛称ではなく授業中は「くん」「さん」をつけるように徹底を図りたい。
- ・福祉サービス利用に関し、学校が軸となり関係機関も交えてのケース会議も実施。

(2) 心身の健康を守る教育の推進

- ・救急搬送10件。児童生徒一人ひとりに対し担任、保健室、医療機関それぞれの対応をマニュアル化。

(3) 危機管理体制の強化

- ・車いすでの階段を使用した避難方法の確認。
- ・絆メール（全保護者に入ってもらっている）を活用しているが、HP上にも安否確認できるように準備。

2 授業実践力の向上

(1) 質の高い授業実践（交野支援学校版専門性チェックリスト作成）

- ・Wish Board：作成中。教職員につけたい力をのせている宝の地図。
（身に着けていくべき専門性などについて、資質（人間力）、知識力、教育力、技術力、組織力。教員にアンケートをとって出てきた項目から作成中）
- ・Mapping Sheet：作成中。自分のありどころを見つけるシート。
授業実践を積みながら教育力の向上を図りたい。

3 協働する力の向上

(1) 教職員の組織的専門性向上

- ・本校が初任の教職員が約6割。若い集団になっている。
- ・学校外に示しているものに、学校経営計画、学校教育自己診断の他にストレスチェックがある。
- ・ストレスチェック
教員がアンケートに答えた結果で学校の課題も見えてくる。
94%が提出。高ストレスの判定者が16名（約14%）。すぐに面接が必要な教員はなし。
集団としてのストレスも低下してきている。

4 社会と繋がる力の向上

- ・感染症が落ち着いたら地域の方からの昔遊びの伝授等も再開したい。
- ・支援教育力向上の一環として、近隣の幼小中高との教員間の連携も引き続き進めたい。

【委員の質問・意見】

- ・最近の動向として
医療的ケア児の支援法が整備され対応の責務が明確化された。再認識を。
- ・危機管理体制の強化
交野市は土砂災害の危機管理の計画を作るように言われている。地域の特性に応じて別途対応が必要。
- ・コロナに関連しての事業継続計画
感染症が起こった時の利用者の受け入れなど事業活動をとめることなく継続して事業できるように計画を作る必要あり。自然災害時も含めて義務付けられた。

- ・Wish Board

イメージ図については一見して説明しなくてもわかるのがよい。

- ・セルフチェックシートは非常にわかりやすい。

- ・協働する力の初任者に対するチューター、メンター制の導入について

初任者研修は手厚いが初年度だけ。2年目以降の研修がなかなかないのが現状。

この学校の2年目以降の研修のフォロー、先輩が後輩に教えるシステムが非常に有効。

結果として、現場の同僚の支援が高いというところにリンクしているのではないか。

この制度は交野支援の特徴として維持し強化してほしい。

- ・初任者に対するチューター、メンター制をこの4月から同じように活用している。

(私学は初任者研修が公立に比べると圧倒的に少ないので、これを活用させてもらっている。)

- ・児童生徒の交流をDVDで行っているが、感染症が収まったら是非とも活発な交流の再開を。

- ・ストレスチェック

パワハラ防止の処置が義務化され、研修を含めて相談窓口を設けている。学校で対応を。

②「学校教育自己診断アンケート」について

- ・アンケート回収率 児童生徒7名、保護者80%、教職員用100%

今回は結果のみの提示。現在教職員で結果の考察を行っている。詳細は次回報告予定。

- ・結果について

- 児童生徒用

- ・昨年度より問いかけをわかりやすく変更し「わからない」の人数が減少した。

- ・進学・卒業についての「いいえ」の回答2名は新入生の回答→今後取り組んでいく。

- 保護者用

- ・回収率が大幅に上昇。

- ・肯定的意見ABが増えたものは21項目中15項目、減ったものは3項目

- ・否定的意見CDが増えたのものは21項目中1項目、17項目が減少

- ・わからないが10%以上あったのは5項目

- 教職員用

- ・選択肢の「わからない」を今回は除き「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の4つの選択肢で実施。

- ・各項目で肯定的AB・否定的CDの双方とも増加の傾向。

- ・肯定的意見の上昇率のほうが高いので、全体的にはいい方向へシフトしていると捉えている。

【委員の質問・意見】

- ・児童生徒数をもう少し増やすことができないのか？

→アンケートの文言を理解し答えることができる子どもたちの人数として捉えてもらいたい。

- ・児童生徒の7番（進学、卒業してからのこと）

進路について伝えることは絶対に必要で、外してほしくない事項である。

「わからない」と答えた保護者も1割程度いる。リンクしている。

(Wish Boardの)自分には無限の可能性があるということを教えてあげてほしい。

- ・保護者21番（学校の施設・設備）について。創立40年を超える施設としては厳しいと思うが、52%から71%に上がった理由は？

- ・単純に母数が増えたから？設備的にはややあてあまらない部分もあると思う。先生方のご助力でカバーしているのではないか。

→大規模停電で給食ができなかったり、地震で体育館が使いえなかったり、スロープのつなぎめが剥

がれたりと不安の高い2年間が続いた。昨年から大きな事故が起こっていないことも関係あるのではないか。

- ・学校の建物の対応年数は？

→当初は30年くらいで考えていたと聞いている。

現在は長期改修計画の中で手を入れていく方向のようだ。耐震審査は通っている。

- ・外壁や防水などのメンテナンスは入っている？

→大規模工事の予定は計画されていない。

40年経ってかなり傷んできている。大阪府としては建て替えでなくなるべく既存施設を使っていく方針。雨漏りなどその都度の対応になる。来年度は体育館にエアコンをつける予定。

③その他 意見書より

- ・学校運営協議会実施要項、意見の取り扱いについて説明。

〔議題〕

給食について、本来本協議会の議案ではないと考えるが本校の取り組みを知っていただくよい機会と捉えている。

〔意見書の内容〕

主菜、副菜、主食、汁物のうち副菜がない。エネルギー補給目的だけでなく見た目も大切。

(学校から説明)

- ・学校としてのとらえ、実情、資料①(給食メニュー写真)、②(段階食について)、③(学校給食の規定文書、別表)、対応について。

カロリーを増やすと肥満、二次障がいが起こる可能性があるため。

運動量が多い生徒には配膳量を多めにしたり、おかわりなどの対応を今後も続けていく。

【委員の質問・意見】

- ・世界の献立や郷土料理は段階食の中で色合いとか出せるのか？

→別メニューにはせずすべてのメニューを段階食で提供している。

- ・本校は以前から自校調理をしている。また(事故を起こしやすい食材)を除いた献立を作ることの重要性も認識して対応している。

写真、段階食を見せてもらったが、以前よりよくなっている。肢体の重度の子どもたちの給食は教師にとって緊張する時間だが、よく頑張っている。

- ・全然問題ない。品数は少なくとも野菜を入れている。

- ・この対応をお願いします。

(4) 今後の予定

- ・現在のところ集合開催の予定。今後の感染状況によっては変更もある。

内容：令和3年度学校経営計画の総括、学校教育自己診断アンケート分析結果、令和4年度学校経営計画基本部分の承認手続き

次回の会議日程

日時	令和4年2月8日(火)
会場	大阪府立交野支援学校 校長室